

大塚総合会計事務所 / (株)大塚総医研

〒542-0081

大阪市中央区南船場 1-7-8 ダイアパレス順慶町ビル
3階 受付、総務部、監査部 4階 創業・経営支援部

Tel06-6267-8282 Fax06-6267-8280

E-mail アドレス info@ohtsuka-office.com

http://www.ohtsuka-office.com

〈ご案内〉

・ 医療に関する意識調査

医療に関する意識調査

連合の総合生活開発研究所(中名生隆所長)は6月3日、「医療に関する勤労者の意識調査」の結果を発表し、20代～50代のサラリーマンの約6割が医療に不満を持ち、特に健康でない人に不満が高いことがわかりました。

これは今年4月、首都圏、関西圏に住む900人を対象にしたアンケート調査で明らかになったものです。(回収率89.6%)

連合総研では、今年1月「患者・国民のための医療改革に関する研究委員会」(主査=山崎泰彦・神奈川県立保健福祉大学教授)を設置し、医療制度改革への提言に向けた調査研究の一環として同調査を行いました。

それによりますと、

- | | |
|-------------------------|-------|
| 1.「待ち時間が長い」 | 70.5% |
| 2.「医師などの経験・技能レベルがわからない」 | 60% |
| 3.「病院・医師を選ぶための情報不足」 | 50% |

特に必要な医療情報の順として

「治療と効果」「薬の効能と副作用」「カルテの内容」でした。

また、医療安全に対する関心も9割と高くなっています。

その内容は、

- 1.「医師などの知識・技術の向上」
- 2.「医療事故・ミスの情報公開や医療機関内での共有」
- 3.「医師などが患者の生命・安全への意識向上を図る」

の順で安全対策を望む意見が多くでした。

医療費に関しては8割近くが負担を感じており、とりわけ40代男性で負担感が強くなっています。また、医療費の自己負担増により、6割弱に行動の変化があらわれ、特に40代の4割が「少々体調が悪くてもしばらく様子を見る」など早期受診を抑制しています。

(株)大塚総医研では医療全体の質の向上を目指し、10月にも報告書として提言をまとめ、ファックスサービスにてご報告する予定です。